

地域密着型金融の取組みについて

(平成 21 年 4 月から 22 年 3 月)

新井信用金庫

地域密着型金融推進計画の進捗状況

■地域密着型金融の取組みについて（平成 21 年 4 月～22 年 3 月）

平成 21 年度の地域密着型金融の取組みにおいては、「1. ライフサイクルに応じた取引企業の支援強化」「2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底」「3. 持続可能な地域経済への貢献」等の推進に積極的に取り組んでまいりました。

具体的な取組み内容

1. ライフサイクルに応じた取引企業の支援強化

・経営改善支援

地域の発展には、地元の中小企業が健全に存続し発展していくことが重要であり、信用金庫は地域の発展、地域中小企業の発展について、使命共同体として役割を果たしていく必要があります。

企業の経営改善支援にあたっては、決算書、試算書などの表面的な計数のみで判断することなく、企業の技術力、地域力、経営者の考え、業況等を勘案した上で、勘定科目の中身を把握し、取引先個々の問題点を洗い出し、その上で取引先経営者と一体となり、事業改善計画、収支計画を策定し、キャッシュフローの生成育成を目指して経営改善に取り組んでおります。

平成 21 年度は、重点支援対象先 47 先を選定し、P.D.C.A サイクルにより経営改善を行った結果、2 先のランクアップが図られました。

平成 21 年度はランクアップ先が少なかったものの、ランクダウンの防止が図られたと認識しております。

今後も深度ある実態把握に努め、フォローの継続ときめ細かい指導や、条件緩和等、柔軟な姿勢でサポートに取り組んでまいります。

・事業再生支援

地域経済が低迷している中、地域経済を支える中小企業の事業再生を支援することにより、取引先の資源生産性の向上、新たな付加価値を創出するため、事業再生に取り組んでおります。

今後も、地元企業の存続を図るため、会社分割、事業譲渡等による企業再生への支援に取り組んでまいります。

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底

・中小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細かな対応

地域経済の低迷が続き、地域の中小規模事業者の資金ニーズが高まる中、タイムリーな資金供給が求められております。

顧客への訪問活動を行うことにより、取引先とのコミュニケーションを図り、資金繰りだけでなく営業面、経営相談のもと、財務諸表にとらわれない企業力等、企

業の実態を把握しきめ細かい与信判断に努めております。

緊急保証制度の活用では、新潟県セーフティネット、長野県中小企業振興資金、上越市経営改善支援資金、糸魚川市景気対策特別資金、プロパー資金等にて、その他小口零細企業保証制度資金、季節資金等、企業への積極的且きめ細かな対応により、円滑な資金供給が図られたと評価しております。

地域経済は厳しい状況が続いており、再度の資金ニーズの要望に対しキャッシュフローとのバランスを考え、柔軟に対応していく方針であります。

- 目利き機能の発揮に向けた取組み

企業の将来性や技術力を的確に評価できる能力、いわゆる「目利き力」の養成、創業・新事業の将来性を見極めや、コンサルティングのできる人材の育成を図るため、(社) 全国信用金庫協会や、(社) 関東信用金庫協会が開講する「目利き力実践講座」「融資審査講座」「企業再生支援実践講座」「支店長講座」「融資渉外講座」「融資審査・管理講座」等、外部研修への参加や、専門家による研修を通じ人材の育成に努めております。

又、市、町、商工会議所、商工会、中小企業支援センター等への訪問による情報交換を実施し、企業の持つ技術力、特色、将来性等を見極める能力の向上が図られており、新分野の進出、新事業の創出の融資に繋がっております。

今後も新分野への進出等への支援に力を入れて取り組んでまいります。

3. 持続可能な地域社会経済への貢献

- 取引先に対する情報の提供、経営相談、ビジネスマッチング

中小企業に対する情報の提供、経営相談、ビジネスマッチングのために「新井しんきんビジネスクラブ」「若手経営者新信会」を組織しており、継続した情報提供、ビジネスマッチング等の支援を行っております。

第23回東京ビジネスサミットでは、昨年に引き続き「はばたけ新潟・トキめき新潟ゾーン」を開設し、地元企業5社が出展し商談会を行い、赤倉温泉のPRも行いました。

- 環境保全支援

環境問題への取組みが叫ばれている中、地域環境・地球環境を保全し、次世代に引き継ぐため、環境問題に積極的に取組み、全店が「エコアクション21」の認証を取得しました。

今後も環境問題に関心を持ち、地域環境・地球環境の保全に取り組んでまいります。